



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第37号

発行日 2022年7月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の美会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dousoukai@sadai.jp
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集 会報編集委員会

目次

巻頭言

- 佐賀大学同窓会 会長 水田 和彦 … 1～2
- 今年こそ活動再開のおもいでいっぱいです
大分県支部会事務局長 神取 禎久 … 2～3
- 第11回佐賀大学ホームカミングデーの開催 … 3
- 佐賀大学の風景 … 3
- 令和4年度春期定例役員会 … 4
- 令和4年度佐賀大学同窓会役員名簿 … 5
- 活動助成金の有効活用を！
佐賀大学同窓会支部強化部長 山口 久美子 … 6

同窓会NOW

有朋会

作品に出会える場所ができました 中村 美和子 … 7

芸術地域デザイン学部同窓会

巨人の肩の上に乗る矮人 白石 陽 … 7

楠葉同窓会

佐賀大学での仕事にやりがいを感じています 田代 圭 … 8

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

看護師になってからのこれまでと、これから 石橋 秋奈 … 8

理工学部同窓会（菱実会）

人と交流する楽しみ 牧瀬 穂子 … 9

農学部同窓会

地元佐賀県の職員として 永井 勘太 … 9

令和3年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者 … 10

受賞者の喜びの声 … 10～11

石丸 圭汰 中村 紗菜 渡崎 真里

岡崎 政人 岡本 聖羅

恩師情報・・・この一年 … 12

佐賀大学同窓会・佐賀大学の動き … 12

「佐賀県青春寮歌祭」参加のご案内 … 12

ホームページの閲覧を … 12

同窓会からの連絡 … 12

ご意見メール等募集

名前・住所変更等ご連絡のお願い



会長就任の挨拶

佐賀大学同窓会 会長 水田 和彦（農学・S51年卒）

同窓会会員の皆様にはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。このたびの川副会長の任期満了に伴う役員改選において、佐賀大学同窓会長の大役を仰せつかりました。もとより浅学非才の身であり、とてもその任にあらずと固辞しましたが、全員で補佐するとの言葉に助けられお引き受けすることとなりました。微力ながらも全力で任に当たりたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

同窓会の成り立ちをひも解いてみますと、佐賀師範からの流れをもち130年の歴史を持つ教育学部を中心とした有朋会、文理学部から改組された理工学部の菱実（りょうじつ）会と経済学部の楠葉同窓会、農学部同窓会、佐賀医科大学から佐賀大学医学部へ

と統合された佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会、令和2年2月に芸術地域デザイン学部同窓会が発足しています。そんな中、佐賀大学同窓会（全学同窓会）は佐賀大学が佐賀医科大学と統合し新しい総合大学「佐賀大学」が発足したのを機に、歴史も内容もそれぞれ違う学部同窓会を統合する形で、平成16年4月に発足し今日に至っています。

同窓会の目的の一つに、「地域と共に未来に向けて発展し続ける佐賀大学の発展に寄与すること」があります。現在の佐賀大学は総合大学にふさわしく、多種多様な分野に今までにない新しい研究で地域に密着し、世界に通用するすばらしい実績をあげておられます。そして、2030年に向けてのビジョンに

「志、挑戦、そして未来へ」と題し、「関わる人々が誇れる」「学びたいと選ばれる」「地域社会から期待、信頼される」佐賀大学を目指し、取り組んでおられます。また、学生も卒業時の各種表彰を見ておきますと、その内容はもとより、入学時からしっかりした目的意識を持ち、着実に成果を上げておられる様子を見ることが出来ます。海外への関心も高く、留学している学生も多く見受けられます。私の頃の学生生活と比べると雲泥の差があるように感じ、うらやましくもあり、頼もしい限りです。

このように、大学が総合大学として今まで以上に発展している姿を見ると、私たち同窓会もそれに見合う形で少しでもお手伝い、支援していければと思う次第です。大学側も地域に向き合うことを意識され、同窓会にも大きな期待を持っていただいでい

ます。

また、言うまでもなく同窓会の第一義は、「会員の親睦融和を図る」ことにあると思います。社会情勢を見れば新型コロナウイルスの感染症により、この2年間はどこの会も集まることすらままならず、顔を合わせることが出来ない状態が続いてきました。

「同窓会 会えばいつでも 大学生」

幾つになっても、共に学んだ友と会うことで気持ちだけはいつでも大学時代に戻れるものです。今年こそは、この目的が果たせますように祈るばかりです。

次の機会にお目にかかれることを楽しみに、会員の皆様の御健康と御多幸をお祈りしますとともに、御指導と御協力、御支援をお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。



支部だより

今年こそ活動再開のおもいでいっぱいです

大分県支部会

佐賀大学の同窓生の皆様方におかれましては、コロナ禍で大変な時期ではございますが、それぞれの地域で、ご苦労をされながらもご活躍されているところと察します。大分県においても現時点（令和4年5月）においてもなかなか感染者数は減少には至らず、支部の交流も見送りながら、2年が過ぎている状況でございます。そのような中ではございますが、佐賀大学同窓会大分県支部（豊後はがくれの会：支部長 清末義信 農学部 S59卒）の取り組みについて紹介の機会をいただきましたので報告させていただきます。

大分県支部の活動は、毎年秋に開催する総会及び懇親会に加え、ゴルフコンペや花見会等の交流行事を開催しております。残念ながら総会も令和1年11月23日に開催したのちは2年休止の状況となっております。

支部活動のメイン行事である総会及び懇親会では、ご参加の皆さんが交流できるよう懇談の合間に、恒例のゲーム大会を開きます。トーナメント方式によ

るじゃんけん大会を行い、壇上で繰り広げられる一対一の年代や学部を超えた熱いバトルはお互いを知り合うよい機会にもなっております。場が和んできると、大先輩方を中心に、巻頭言、「南に遠く」と歌い踊りの輪ができるというとても楽しい時間となっています。

また、ゴルフコンペは世話役の本田茂さん（経済学部 H1卒）が中心に総会の際に愛好者を募り開催しております。中津市にある高田薫さん（農学部 S38卒）義子さん（農学部 S41卒）の高田観光農園の梨の花見会から始まった春の花見会は、令和2年には津久見市四浦半島での河津桜花見ツアーと趣向をかえ、津久見市の宗真也さん（経済学部 S61卒）のお世話で開催し、花見等観光ののちに、津久見市在住の同窓生との交流の場を持ちました。

このように、多くの会員の協力の下で運営させていただいておりますが、コロナ禍で一旦休止の状況ですが、支部では多くの方々と交流を出来るよう工夫をしていきたいと考えております。この2年のブ

ランクを埋めるよう、支部会報の発行の企画や総会などの活動参加の呼びかけ範囲も広げて、是非とも今年は支部の交流を再開したいと思います。

最後に、他支部の皆様も、コロナが落ち着きましたら「おんせん県」大分へ足をお運びください。別府・湯布院温泉だけでなく県内各地の16市町村（18市町村中）で温泉が湧出しており、山海の豊かな大分の食彩が行く先々で楽しめますよ。

佐賀大学同窓会大分県支部 事務局長

神取 禎久（農学・S62年卒）

※大分在住の同窓会員で支部活動（総会案内等）の連絡が届いていない方は、下記（事務局メール）まで連絡ください。

連絡先メール kamitoril964@gmail.com



津久見市在住の同窓生との意見交換会

第11回佐賀大学ホームカミングデーの開催 （※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては変更があります。）

【期日】 令和4年11月5日(土) 【場所】 佐賀大学本庄キャンパス

【目的】 佐賀大学の卒業生に母校佐賀大学を訪問していただき、母校の現状を知り、恩師・学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

【対象】 卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内容】 大学の近況報告、講演、在校生によるアトラクションなど

※詳細は決定次第、佐賀大学校友会のホームページでお知らせします。

(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>)

【お問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

TEL : 0952-28-8390

E-mail: kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp

第10回佐賀大学ホームカミングデー（令和3年11月6日開催）の様子は、こちらからご覧ください。

(URL <https://youtu.be/lvC881PGJxM>)

また、佐賀大学校友会において「同窓生へ贈る佐大正門の今」をテーマに、動画「佐賀大の歴史（正門編）」を制作しました。ご高覧いただければ幸いです。

(URL <https://youtu.be/3imC85A21Rg>)



佐賀大学の風景

「菱の実会館」

会館の中に佐賀大学同窓会及び各学部同窓会の事務局があります。

佐賀大学西門から入ってすぐの左側にあります。

佐賀大学においでの際は是非お立ち寄り下さい。



令和4年度 春期定例役員会

新会長と事業計画、予算を決定

令和2年度・3年度の2年間は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、書面会議で行ってきた春期定例役員会だが、令和4年度は令和4年4月21日(木)に佐賀大学「菱の実会館」で開催した。

審議の結果、令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画案・予算案及び新役員が承認された。

会長職4年の川副 操氏が退任し、水田和彦氏(前農学部同窓会長)が新会長に選任された。

I. 令和3年度事業報告

1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」35、36号発行。
35号は会員へ発送し、36号はホームページでの閲覧。

2. 事業活動

1) 県外支部会、佐賀県内地区会等活動

新型コロナ感染拡大防止のため、すべての支部会・地区会の開催はなかった。今後の支部会・地区会への活動準備支援として、振込先の確認がとれたところに2万円の助成金を支給した。

2) 佐賀大学と佐賀大学同窓会の意見交換会

当初は令和3年5月に予定していたが、新型コロナ禍で延期となった。大学当局と日程調整を行い令和3年10月21日(木)に開催した。大学側から13名、同窓会側から12名が参加し、双方から考えを出し合い有意義な意見交換会となった。

3) 佐賀大学校友会への支援

校友会費として2,597,500円の支援(1人2,500円)

4) 学生支援(キャリアデザイン講座)

佐賀大学キャリアデザイン講座に公務員、教員、民間企業、芸術系の同窓会OB、OG講師7名の派遣。今年度は対面及びオンラインでの講義となった。

5) 佐賀大学同窓会会長賞

今年度は5学部から推薦された3名及び2団体に佐賀大学同窓会長賞を授与した。学位記授与式が簡素化され、式の中で直接授与できなかったので表彰状・記念品は郵送した。

6) 佐賀県青春寮歌祭

令和3年11月27日(土)に予定されていたが、新型コロナの影響で中止された。
○巻頭言・学生歌等の練習も今年度は行われなかった。

7) 大学祭への支援

本庄・鍋島キャンパス大学祭は、新型コロナ禍の影響で中止となり、支援は行わなかった。

8) その他

2021年度もコロナ禍の影響で支部会・地区会開催にも影響が出た1年だった。春期・秋期定例役員会は書面会議で実施した。年5回の代表役員会は予定通り開催できた。臨時会長会を2回開催した。
新型コロナ禍が家庭の経済状況に影響を及ぼし令和2年度は新入生の会費納入率が下がったが、令和3年度は少し回復の兆しが見られた。

II. 令和4年度事業計画

令和3年度事業の継続と充実を図る。

新型コロナ禍の影響で過去2年間開催されていないが、同窓会員交流の場である支部会・地区会が、今年度は開催できればと祈念する。

III. 令和3年度決算及び令和4年度予算(概要)

【単位：千円】

科 目	令和3年度決算	令和4年度予算
収入の部		
前年度繰越金	4,596	5,501
人件費清算分 (学務業務委託)	1,111	1,460
収納金	12,375	10,560
雑収入	133	129
合計	18,215	17,650
支出の部		
運営費	7,044	7,430
業務・活動費	5,670	7,825
予備費	0	2,395
合計	12,714	17,650

収入18,215 - 支出12,714 = 残高5,501 (次年度へ繰越)

令和4年度 佐賀大学同窓会役職員名簿

※芸術地域デザイン学部同窓会からの役員は副会長のみとする。

R4.5現在

役職	担当	氏名	学部卒年学科	役職	担当	氏名	学部卒年学科
会長	佐賀大学同窓会	水田 和彦	農学・S51農土	理事	情報管理部	古島 智恵	医学・H11看
副会長	有朋会	山田 直行	教育・S47美	〃	〃	大谷 誠	理工・H6情
〃	芸術地域デザイン学部同窓会	石丸 圭汰	芸術・R2芸	〃	〃	田中 宗浩	農学・H4生
〃	楠葉同窓会	江口 洋一	経済・S49経	〃	学生支援部	緒方 俊昭	教育・S52美
〃	佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会	江口有一郎	医学・H6医	〃	〃	大塚 浩司	経済・S59経
〃	理工学部同窓会	穂屋下 茂	理工・S49機	〃	〃	矢ヶ部伸也	医学・H9医
〃	農学部同窓会	森田 昭	農学・S52農学	〃	〃	山口 智啓	理工・S52生機
理事長	庶務部長	市場 正良	医学・S61医	〃	〃	松尾 信寿	農学・S63園芸
副理事長	会報発行部長	鐘ヶ江直雅	農学・S56農化	〃	支部強化部	堤 公一	教育・H6小
〃	情報管理部長	山中 輝樹	理工・H6情	〃	〃	坂田 智宏	経済・S62経
〃	学生支援部長	江口 達也	経済・S60経	〃	〃	松下 英友	医学・H14医
〃	支部強化部長	山口久美子	教育・S41小	〃	〃	島 公二武	理工・S50機
理事	庶務部	黒木 正孝	教育・S53小	〃	〃	吉賀 豊司	農学・H2園芸
〃	〃	中川 哲也	経済・S51経	監事	〃	末次 利隆	教育・S51中
〃	〃	川久保 愛	医学・H19看	〃	〃	黒木 泰彦	経済・H11経
〃	〃	牧瀬 稔子	理工・S59数	〃	〃	吉岡めぐみ	医学・H12看
〃	〃	野中 一弥	農学・H元農化	〃	〃	中島 道夫	理工・S47化
〃	会報発行部	徳安 和博	教育・H2美	〃	〃	瀬尾 裕一	農学・S63農学
〃	〃	松尾 和俊	経済・S62経	理事	事務局長	平野 禎亮	教育・S50小
〃	〃	相島 慎一	医学・H8医	顧問	〃	久間 善郎	文理・S37法
〃	〃	小玉 純士	理工・S62建	〃	〃	宮島 豊秀	教育・S35小
〃	〃	郡山 益実	農学・H7生	〃	〃	金丸 安隆	農学・S43農
〃	情報管理部	中村 隆敏	教育・S61美	〃	〃	川副 操	農学・S44農土
〃	〃	八谷 浩司	経済・S61管	〃	事務職員	姉川 悦子・宮司佐和美	

佐賀大学同窓会事務局職員の紹介

《佐賀大学同窓会及び各学部同窓会の事務職員（主な担当同窓会）》

- ・平野 禎亮 佐賀大学同窓会事務局長
- ・姉川 悦子 佐賀大学同窓会 楠葉同窓会（文理学部・経済学部）
佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会 農学部同窓会
- ・宮司佐和美 佐賀大学同窓会 楠葉同窓会（文理学部・経済学部）
佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会 農学部同窓会
- ・竹下 敬教 有朋会（教育学部・文化教育学部） 芸術地域デザイン学部同窓会
- ・末次眞喜子 菱実会（理工学部）

同窓会事務局職員一同、佐賀大学同窓会と各学部同窓会の円滑な推進のために頑張っています。同窓会会員の皆様、佐賀大学と同窓会の発展のために今後ともご支援ご協力をお願いします。



活動助成金の有効活用を！

佐賀大学同窓会 支部強化部長 山口 久美子 (教育・S41年卒)

悩みのコロナは、未だ回復の兆しには程遠い。この二年間、佐賀大学同窓会も悉く総会ひびの中止や延期取り止めの事態に追い込まれ、「このまゝでは…」と川副同窓会長のつぶやきが途絶えることはなかった。

昨年の佐賀大学との意見交換会の折には、「声をかけてくれれば、大学側も現地に赴いて、積極的に総会の一座に加わるよ。」との大学の兒玉浩明学長の激励のお言葉も頂いているというのに、肝心の総会が持てないのではと、私達、支部強化部会としてもジレンマが募る。

やや小康状態になった十一月。思いきって同窓会の支部強化部会を菱の実会館で開催した。

会合や総会は持てなくても、連絡を取り合う一助となる活動助成金があると通信費等に活用できると話が盛り上がった。早速次の第三回代表役員会で提案をさせて頂いたところ、各学部長も賛意を表された。一万円の活動助成金の提案が、団体に各二万円の活動助成金の支給と決定した。後日、希望のある支部や地区から振込先の連絡を受け、令和四年二月に支給を開始し、振込先の確認がとれた十九団体に、二万円の活動助成金を送付することができた。

次年度の総会開催までをつなぎ、各会員間の交流をつなぐ手だての工夫のために、助成金の有効活用を図っていただき、活動の絆をさらに深めて頂きたいと願っている。

春期定例役員会の様子

できるだけ3密にならないように心がけ、佐賀大学同窓会春期定例役員会を開催しました。全員マスクを着用し、入り口では手指消毒をし、入り口のドアは開けたままで行いました。



同窓会NOW

有朋会

作品に出会える場所ができました

佐賀大学と佐賀ダイハツによる、若手アーティスト支援のアートプロジェクトが立ち上がり、私は第一回アーティストとして2022年1月より佐賀ダイハツで展示をさせていただきました。佐賀大学の大学院を修了して3年間、佐賀市内の職場に通いつつちょこちょこ作り続けてはいましたが、大きな作品や新しい考えは発表していなかったのが大学在学時に比べると制作活動は停滞気味でした。今回は佐賀ダイハツの待合室の壁面や本社のエントランスなど広い空間が展示スペースとして設定されていて、久しぶりの大きなものや少し思考を進めた新しい作品を制作することができました。

展示会場となる佐賀ダイハツ販売佐賀店は佐賀市の町並みから外れた嘉瀬というところにあり、基本的には車に用のある人しか訪れない場所です。偶発的な出会いが生まれにくい（これは単に短所ではなく、むしろ出会うものを選び取れるという点で長所

アーティスト 中村 美和子 (文化教育・H29年卒)

だとも考えているのですが) 佐賀という土地で、普段はアートにアクセスしにくい人にも作品を見てもらえるというのは嬉しい経験です。また、発表の場が自分の住む地域にきちんとあるのも幸せなことでした。これからは、佐賀に住む一人の鑑賞者として、このプロジェクトでどんなアーティストのどんな作品に出会うことができるのか、楽しみです。



同窓会NOW

芸術地域デザイン学部同窓会

巨人の肩の上に乗る矮人

高校教諭 白石 陽 (芸地デ・R2年卒)

大学に入学をして芸術地域デザイン学部で四年間過ごし、社会へ出ることになりました。卒業後は学校の先生をしています。

「巨人の肩の上に乗る矮人」私の好きな言葉です。ここでの巨人は先人たちの積み重ねてきたもの、矮人は今を生きる現代人のメタファーだと思います。この言葉を最初に用いた12世紀の哲学者ベルナルドゥスは続けて「私たちは彼らよりもよく、また遠くまで見ることはできるのは、私たち自身に優れた視力があるからでもなく、他の優れた身体的特徴があるからでもなく、ただ彼らの巨大さによって私たちが高く引き上げられているからなのだ」とも言っています。この言葉は過去への敬意を表しながらも、同時代の謙虚さと進歩への自信との背反性が

感じられ、非常に人間的です。



芸術において何か新しいことをしようとしたとき、私たちはついつい人がしていないことに目を向けます。しかし、本当に大事なことは先人がしたことに注目をして、それとは被らない為にはどうするかを考えることです。歴史を学ぶ(巨人の肩に乗る)ということはそれだけで自分(矮人)の視座を高めてくれます。

最後になりましたが、大学や同窓会、教授や卒業生、そして同級生などありとあらゆる団体や人々と協力をして、より善い人生をこれからお互いに歩んでいきましょう。

同窓会NOW

楠葉同窓会

佐賀大学での仕事にやりがいを感じています

有限会社 松浦電機 田代 圭 (経済・H12年卒)



平成12年に経済学部経済学科を卒業して、早22年が経ちました。生まれも育ちも佐賀県で、大学卒業後は佐賀県外で働いていた時期もありましたが、人生の大半を佐賀県で過ごしています。現在の会社では、主に事務機器を販売する部署で営業をやっています。今は学生時代以上に仕事で大学に足を運んでいます。今回ご縁がありまして、同窓会報へ執筆させていただくことになりました。

学生時代に比べると、学内の建物はほとんど改修され綺麗になっていて、大学周辺の街並みもだいぶ変わりました。経済学部4号館だけは、学生時代から変わらずに残っていたのですが、遂に今年度改修されることになりました。毎年、センター試験前に不具合がある講義机・椅子の修理をさせていただいておりました。その際は学生時代から変わらぬものに触れ、まだまだ学生の皆のために頑張ってくれと、気持ちを込めて修理をさせていただいていました。狭くて座面にクッションもなく、お尻も痛くなる椅子ではございましたが、それもなくなるかと思うと

名残惜しくもあります。

大学へ仕事で足を運び始めてから十数年の間に、大学内に色々なものを納めさせていただきました。卒業生の皆さんも足を運べる場所でもある、大学会館食堂・かささぎ食堂も近年改修して綺麗になっており、その際には仕器のリニューアルに携わることが出来ました。綺麗になった学食で、自分が納めたテーブル・チェアに座り食べる食事は格別なものでした。また、私が納めた机や椅子、視聴覚設備を使って、講義を受けている学生の皆さんを拝見すると、何とも言い難い達成感がございます。

私は佐賀大学での仕事を通じて、学生や教職員の皆様のお役に立てる事に、喜びを覚えるとともに、仕事のやりがいを感じています。これからも佐賀大学の卒業生であることに誇りを持ちつつ、佐賀大学の発展に寄与出来ればと考えています。

最後になりましたが、同窓生の皆様の益々のご発展を祈念いたします。

同窓会NOW

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

看護師になってからのこれまでと、これから

久留米大学医学部看護学科 成人看護学 助教 石橋 秋奈 (看護・H19年卒)



佐賀大学医学部看護学科を卒業して15年目を迎えます。大学生時代は全く良い生徒ではなく、周囲に迷惑をかけていることも顧みず「看護師になりたくない!」と言っていたことを恥ずかしくも思い出します。そんな自分が、今は大学の教員として看護学を教える立場になりました。

卒業後、大学病院に就職し手術室勤務になって以来、周術期看護の専門性を深めています。手術との出会いは、大学時代にイギリスに行き、現存するヨーロッパ最古の手術室がある「The Old Operating Theatre」を訪れたことから始まっています。2週間のロンドン1人旅での様々な出会いは、今でも私に影響を与えているように思います。その後、国際看護学を専攻し修士号を取得しました。同時期に、フィリピンとパラオでの開発途上国での短期的な医療活動に参加したことをきっかけに、長期的な開発

援助に携わりたいと考え、JICAを通して2年間ブラジルのベレンに行きました。派遣先のアマゾンア病院では安全管理業務に従事しました。活動当初は何も動けず、ポルトガル語にも苦戦し悔しい毎日でした。半年たとうとしていた時、同僚の現地の看護師に、「私は何も出来ない。ごめんなさい。」と泣いて話した時、「日本からこんなに遠いところまで来てくれた。一緒にいてくれるだけで幸せだよ。あきな、楽しもう! 笑って!」という言葉に助けられました。とても感謝しています。

これからは、自分の経験や知識がどのように教育に還元できるのか模索しながら、「楽しむこと」を忘れずに、自分自身の可能性にも諦めず挑み続けていきたいと思っています。

同窓会NOW

理工学部同窓会（菱実会）

人と交流する楽しみ

佐賀市社会福祉協議会 いきがい館開成 所長 牧瀬 稔子（理工・S59年卒）



3月に佐賀市役所を退職し、4月からいきがい館開成（老人福祉センター&デイサービスセンター）に勤務しています。老人福祉センターは、地域の高齢者に対して、相談に応じたり、健康の増進、教養の向上やレクレーションのための便宜を供与することで、健康で明るい生活を営んでもらうことを目的としています。その中に併設されたデイサービスセンターは、日常生活を営むのに支障がある高齢者に対して、日中通いで、入浴や食事、機能訓練や娯楽を提供することを目的としています。

センターでは、毎日午後2時にデイの利用者と一般の利用者を交えて「佐賀弁ラジオ体操」を行っています。皆さんと一緒に身体を動かすことで、各々の活動にもメリハリが生まれます。また、一般利用者が、囲碁や麻雀のボランティアとしてデイ利用者

と交流されるのも併設の利点です。誰かと「会話」すること、一緒に「取り組む」ことで、表情も明るくなれると感じます。現在マスク越しでの交流ですが、マスクを外され豊かな表情のお顔を拝見できる日が近いことを切に望みます。

コロナ禍になる以前は、健康寿命を延ばすための施策、家に引きこもらず他者との交流を深めるなどのフレイル対策を推進していました。交流が制限され社会参加の機会が減ることは、老若男女問わず、心身の健康に大きく影響します。ようやく、少しずつではありますが感染防止を行いながらの活動制限が緩和されてきています。あなたの周りに気になる高齢者がいらっしゃいましたら、「いきがい館開成」をご紹介いただければ幸いです。

同窓会NOW

農学部同窓会

地元佐賀県の職員として

佐賀県農林水産部農山漁村課 永井 勘太（農学・R3年卒）



私は、令和3年3月に生物環境科学科を卒業し、同年4月から佐賀県庁に入庁しました。学生時代は環境地盤学分野を専攻しており、クリーク改修現場から採取した底泥を使い、地盤改良効果に関する比較実験を行っていました。

現在は農林水産部農山漁村課に所属し、農業、農村の持つ多面的機能や農村空間等の魅力を県民に知ってもらうため、パンフレットやホームページ等による広報・啓発活動や地域住民による農地や土地改良施設等をはじめ、農村環境の保全活動の推進を図ることを目的として、地域住民活動への支援を行っています。

特に地域住民活動には、ボランティアとして多くの佐賀大学生が参加しており、田植えや稲刈り、イ

ベント活動で地域に大きく貢献しています。そういった活動を支援し、広報をしていくなかで佐賀大学との関わりを深く感じています。

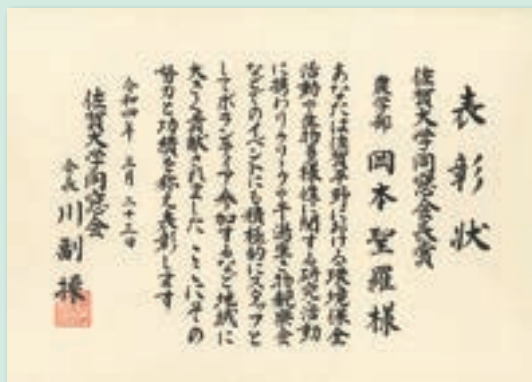
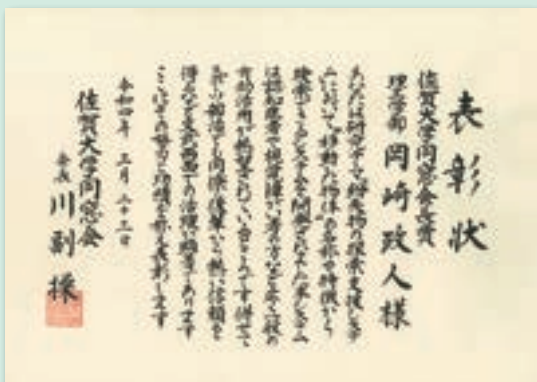
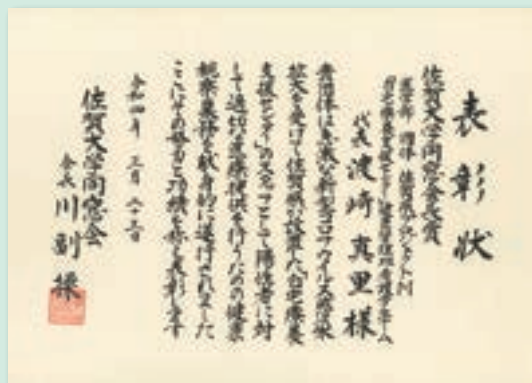
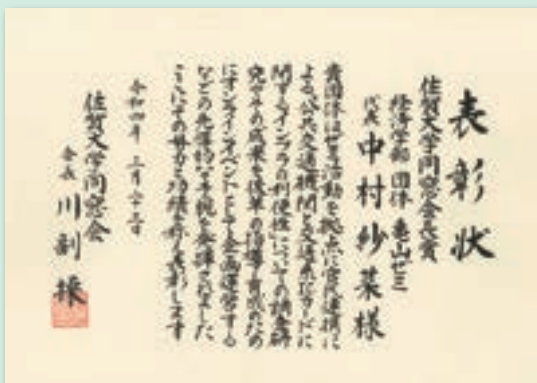
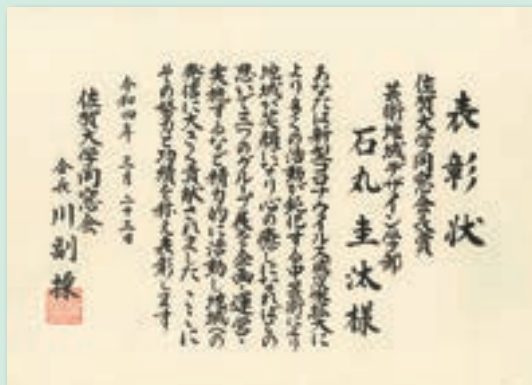
生まれてからずっと佐賀県で過ごしてきましたが、今まで知らなかった魅力や、普段何気なく見ていた施設が防災で重要な役割を担っているなど、佐賀県の農業、農村について多くのことを学びました。今年で入庁2年目となり、仕事においてまだまだ分からないことがたくさんありますが、一つずつ確認しながら進めていき、新しく学んだことを活かしていきたいと思います。今後も佐賀県職員として農業、農村の発展に貢献していけるように頑張ります。

令和3年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者

受賞された皆様、「佐賀大学同窓会長賞」の受賞おめでとうございます。

佐賀大学同窓会では、社会活動、教育、研究等で顕著な社会貢献があったと認められる個人又は団体に「佐賀大学同窓会長賞」を授与しています。佐賀大学の5つの学部から推薦された方々を佐賀大学同窓会役員会で審査した結果、下記の方々に佐賀大学同窓会長賞を授与しました。

賞状に使用しています紙は、佐賀で300年の歴史を持つ「肥前名尾和紙」です。



受賞者の喜びの声

佐賀大学同窓会長賞を受賞して 芸術地域デザイン学部 石丸 圭汰



この度は佐賀大学同窓会長賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。佐賀を中心に積極的に取り組んできた自身の表現活動と美術展覧会がこのような形で評価を受け大変嬉しく感じております。これまで開催した展覧会で印象に残っているのは2020年より始まった、佐賀大学と東京藝術大学と情報科学芸術大学院大学の三大学芸術交流展「環ジョウ交差点」です。他大学の学生に佐賀に短期的に滞在してもらいながら、佐賀大学美術館にて各々の作品の展示を行った企画で、相互の制作に対する姿勢や制作テーマなどに触れ合い知見を深めました。佐賀という地で芸術について学び、表現活動を行っている者として、新しい風を取り入れたいという思いからスタートしています。2021年には第2回が開催され、この展示に関わった人々はこれからも大きな展開を見せてくれると楽しみにしています。

同窓会長賞を受賞した事で、これからの未来への励みとなると思います。改めて、この度はありがとうございました。

佐賀大学同窓会長賞を受賞して

経済学部 団体 亀山ゼミ 代表 中村 紗菜

この度は、佐賀大学同窓会長賞という名誉ある賞を頂きましたことを、亀山研究室を代表して感謝申し上げます。

亀山研究室では3年次に、企業や行政と連携し、自分たちの考える問題意識の解決に向けて調査・研究を行います。私たちはこの経験を通して、チームで円滑に仕事を進めるために、自主性や協調性のみならず、相手の求めるものは何か、今の自分が相手に提供できる付加価値は何か、様々な視点から考え行動する必要性を学びました。これは企業や行政と連携させて頂けたからこそ得られた経験であると思っております。このような機会をくださった亀山教授、企業、行政の皆様には心よりお礼申し上げます。今後は社会人として在学中に学んだ経験を活かし、より一層精進してまいります。ありがとうございました。



佐賀大学同窓会長賞を受賞して

医学部 佐賀県プロジェクトM「自宅療養支援センター」健康管理班看護学生チーム 代表 渡崎 真里

この度は、佐賀大学同窓会長賞という大変名誉ある賞を頂きましたことを、「佐賀プロジェクトM『自宅療養支援センター』健康管理班看護学生センター」を代表して感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症が流行し、それに伴う医療機関、保健所がひっ迫している状況が現在もなお続いております。私たち看護学生も医療従事者を志す一員として少しでも力になれるかという思いから、県庁で行われている自宅療養者支援のお手伝いをさせていただきました。この活動で、深刻な現場業務のひっ迫を目の当たりにしました。また、電話で自宅療養者の方々から話を聞くことで体調のつらさや、計り知れない大きな不安を抱かれていることを痛感しました。活動を通して感じたことを胸に刻み、4月からはそれぞれが医療従事者として少しでも現場の力になれるよう努めていきます。また早くこの状況が収束いたしますことを祈っております。この度は誠にありがとうございました。



佐賀大学同窓会長賞を受賞して

理工学部 岡崎 政人

この度は、佐賀大学同窓会長賞という大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。私は、理工学部の知能情報システム学科に4年間在籍しており、研究室では登録や学習を必要としない探索支援システムの開発に携わらせていただきました。大学入学当初から私は、システムを作るなら、自分や利用者の生活に少しでも貢献できるものを開発してみたいという思いがありました。そんな私にとって、探索支援システムの開発は、自身の憧れに触れることのできるとても良い機会だったと思います。4月からは、佐賀大学の大学院に進学しています。今後とも、皆様の生活に少し貢献できるシステムの開発に尽力いたします。この度は誠にありがとうございました。



佐賀大学同窓会長賞を受賞して

農学部 岡本 聖羅

この度は、佐賀大学同窓会長賞という名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。

私は農学部のシステム生態学研究室で2年間に渡り、佐賀平野における外来淡水エビの侵入状況についての研究をしてきました。分属された当初はコロナの影響もあり、研究室への出入りが制限されたことで中々研究のテーマが決まらず不安ではありましたが、ここ数年間で佐賀平野での記録がない外来淡水エビがいるとの情報があつたことからこのテーマに決まりました。



テーマが決まってからは研究室の先輩方や徳田誠准教授の熱心なご指導があったおかげで学内以外にも地域での関わりをもつことができ、ここまで研究を続けることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

4月からは三井郡大刀洗町の農薬を検査する会社の職員として勤めています。研究を通して学んだ地道に積み重ねて努力することを活かしていきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。

恩 師 情 報 ……この一年

定年退職 (令和4年3月31日)

池上 寿伸	教育学部	荒木 博申	芸術地域デザイン学部	古川 達也	理工学部
瀧川 真也	教育学部	河野 史	医学部	和田 康彦	農学部
岡 陽子	大学院学校教育学研究科	門司 晃	医学部	石田 茂資	海洋エネルギー研究センター
木戸田 力	経済学部	井嶋 克志	理工学部		

訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

久 保 浩 洋	佐賀大学名誉教授	教養	令和4年1月23日
富 山 清	佐賀大学名誉教授	教養	令和4年1月27日
光 富 勝	佐賀大学名誉教授	農学部	令和4年2月3日

佐賀大学同窓会・佐賀大学の動き (令和4.1~令和4.12)

- | | |
|--|--|
| <p>1. 1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第36号発行
(会報の郵送は年1回のみ。1月発行の第36号会報誌は同窓会ホームページでの閲覧)</p> <p>2. 10 佐賀大学同窓会「第5回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>3. 23 佐賀大学学位記授与式/佐賀市文化会館
※(学位記授与式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため簡略化され、「佐賀大学同窓会長賞」の授与はできなかったため賞状は郵送した。)</p> <p>3. 31 2021年度の終わり 新型コロナ禍のため人の集まりが制限され、同窓会の地区会及び支部会等の開催ができず、同窓会活動に影響が出た1年だった。一日も早い新型コロナの収束・終息を願う。</p> <p>4. 5 令和4年度佐賀大学入学式 10:00~
/佐賀市文化会館</p> | <p>4. 14 佐賀大学同窓会「第1回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>4. 21 佐賀大学同窓会「春期定例役員会」</p> <p>4. 27 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第37号編集委員会</p> <p>6. 9 佐賀大学同窓会「第2回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>7. 1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第37号発行(会報誌は会員へ郵送)</p> <p>(今後の予定)</p> <p>10. 13 佐賀大学同窓会「第3回代表役員会」/菱の実会館</p> <p>10. 20 佐賀大学同窓会「秋期定例役員会」/菱の実会館</p> <p>11. 5 佐賀大学ホームカミングデー
/佐賀大学本庄キャンパス</p> <p>11. 19 佐賀県青春寮歌祭/佐賀市「エスプラッツホール」</p> <p>12. 8 佐賀大学同窓会「第4回代表役員会」/菱の実会館</p> |
|--|--|

「佐賀県青春寮歌祭」参加のご案内 (※新型コロナウイルス感染の状況で変更があります。)

新型コロナウイルス感染の影響で、この2年間中止となっておりました「佐賀県青春寮歌祭」ですが、今年度は開催の予定です。

- ・日時 令和4年11月19日(土) 13時30分~17時30分(入場無料)
 - ・会場 佐賀市交流センター「エスプラッツホール」佐賀市白山2-7-1 エスプラッツ3階
- 佐賀大学も出場します。奮ってご参加ください!

◆◆◆ ホームページの閲覧を ◆◆◆

佐賀大学同窓会ホームページを開きますと、トップページには次の言葉が目に入ります。

「たて糸と よこ糸で 織りなす佐大の人間模様」

たて糸は、『先輩後輩の繋がり』 よこ糸は『同期生の集まり』

中を開いていただきますと「佐賀大学同窓会」と「有朋会」「芸術地域デザイン学部同窓会」「楠葉同窓会」「佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会」「理工学部同窓会(菱実会)」「農学部同窓会」6つの学部同窓会の様々な活動の様子が記されています。是非ご覧になってください。

(ホームページ) <http://sadai.jp/alumni/>

ご意見メール等募集

同窓会や会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受け付けております。

名前・住所変更等 ご連絡のお願い

住所変更、お問い合わせ等がありましたら、佐賀大学同窓会ホームページ「住所変更・お問い合わせはこちら」からお知らせください。

Tel : 0952-23-1253 Fax : 0952-25-5700 E-mail : dousoukai@sadai.jp

